

# 22-2 エコマテリアル研究会

## 「環境影響を低減した高分子材料の設計指針を探る」

**<趣旨>** 環境流出したプラスチック廃棄物による環境影響が社会問題として関心を集める中、その問題解決を目指した様々な取り組みが世界中で精力的に進められています。今回のエコマテリアル研究会では、マイクロプラスチックが如何にして発生するのか、環境分解性を付与した材料の安全性は如何程なのか、分解を如何にして高度に制御するのかに関わる研究に取り組んでおられる大学及び国立研究機関に在籍される研究者の方々をお招きしてご講演をいただきます。また、バイオベース化による生産時の環境負荷低減を目した高分子材料の研究開発についてもご紹介いたします。これらの社会的要求に対する最新の研究開発状況に関心のある方はもとより、環境影響を低減した高分子材料にご関心をお持ちの方々のご参加をお待ちしております。学生諸氏の参加も大歓迎します。

**主催** 高分子学会 エコマテリアル研究会

**協賛** 日本化学会、セルロース学会、日本生物工学会、繊維学会（予定）

**日時** 2022年10月7日（金） 13:00～16:50

**会場** 理化学研究所（和光）本部棟(C00) 2階 大会議室（埼玉県和光市広沢 2-1）

<https://www.riken.jp/access/wako-map/>

**交通** 東武東上線、東京メトロ有楽町線、東京メトロ副都心線「和光市駅」徒歩 15分

### プログラム

<13:00～13:05> はじめに（運営委員長挨拶）

（東京大学）吉江 尚子

<13:05～13:45>

1. 環境マイクロプラスチックの発生機構

（九州大学）高原 淳

<13:45～14:25>

2. 高分子の分解性と分解産物の生化学的評価

（京都大学）沼田 圭司

<14:25～15:05>

3. 生解性プラスチックの生態毒性評価

（愛媛大学）鑪迫 典久

<15:05～15:25> 休憩

<15:25～16:05>

4. 圧力で誘起される秩序一無秩序転移を利用した高分子の分解制御

（海洋研究開発機構）出口 茂

<16:05～16:45>

5. バイオマス由来難重合性モノマーを原料とするバイオマスアクリル樹脂の開発

（理化学研究所）竹中 康将

<16:45～16:50> 閉会の挨拶

### 参加要領

1) 定員 100名

2) 参加費 ①企業 3,300円 ②大学・官公庁 2,200円 ③学生 1,100円

④名誉・終身・フェロー・ゴールド・シルバー会員 1,100円

⑤エコマテリアル研究会メンバー無料

3) 申込方法 高分子学会ホームページ(<https://member.spsj.or.jp/event/>)からお申込みください。

受理通知メールを出力して当日受付にてご提出ください。（ご提出後回収いたします）

請求書は受理通知の URL をクリックしてください。

参加費は、お振込みをお願いいたします。

4) 振込先 銀行振込<三菱 UFJ 銀行銀座支店(普)1126232 公益社団法人高分子学会>

郵便振替<00110-6-111688 公益社団法人高分子学会>

5) その他 演題・講演者は予告なく変更になる場合がございます。予めご了承下さい。

**問合せ先** 〒104-0042 東京都中央区入船 3-10-9 新富町ビル

公益社団法人 高分子学会 エコマテリアル研究会係

TEL 03-5540-3770 FAX 03-5540-3737



行事参加申込 QR コード

<https://member.spsj.or.jp/event/>